

## 事前評価個表

整理番号	91
------	----

地域（地区）名	<small>おおいたせいぶ</small> 大分西部地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	大分県	対象市町村	日田市ほか2町
事業実施期間	H23 ~ H27（5年間）	事業実施主体	大分県、市町、森林組合等

事業の概要・目的	<p>本計画区は大分県の西部に位置し、九州の屋根の一角にあたる、湧蓋山、星生山、福万山、岳滅鬼山、釈迦岳、尾ノ岳等、標高1,000m～1,700mの山系によって周囲を囲まれている1市1郡（2町）を包括する区域面積122,404haの地域である。</p> <p>このうち民有林森林面積は88,607ha（民有林率72%）となっており、スギ・ヒノキを主体とした人工林面積は62,207ha（人工林率70%）で県平均58%を上回っている。</p> <p>また、基盤整備の状況は、林道364km（密度4.13m/ha）、作業道919km（密度10.44m/ha）が既に整備されているが、県平均路網密度は林道4.56m/ha、作業道9.13m/haとなっており、林道は県平均より低いが、作業道においては高い状況となっている。</p> <p>当事業計画区内の森林資源の現状は、近年の木材価格の低迷等から適切な森林施業がなされておらず、8歳級以上の森林が65%と高齢級の森林が増加し偏った年齢配置となっている。</p> <p>このことから、利用間伐を中心とした森林整備を実施し、地域の活性化と健全な森林資源の維持増進を図る必要がある。</p> <p>本事業を適正かつ計画的に実施していくことにより、間伐等の森林整備と一体的に丈夫な路網整備が推進され、施業の集約化と低コスト化が進み、間伐等実施林分における搬出率の増加にともなう間伐材の利用促進と、地域の活性化、森林の持つ公益的機能の維持増進が図る。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：27,900ha 人工造林、下刈り、除伐、間伐、森林作業道等</p> <p>総事業費：8,408,760千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 5.53 (総便益(B) = 94,340,917千円、総費用(C) = 17,032,548千円)</p>
評価結果	<p>必要性：地域材の利用促進と森林の持つ公益的機能を発揮させるためには、適正な森林施業の推進を図ることが重要である。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：地域の特性、森林資源の状況並びに自然条件等を総合的に勘案した計画となっており有効である。</p> <p>本計画は、森林の公益的機能を発揮するために効率的・効果的な森林整備が計画されている。また、効率性、有効性も認められることから、森林環境保全整備事業計画として実施することが適当である。</p>

## 便 益 集 計 表

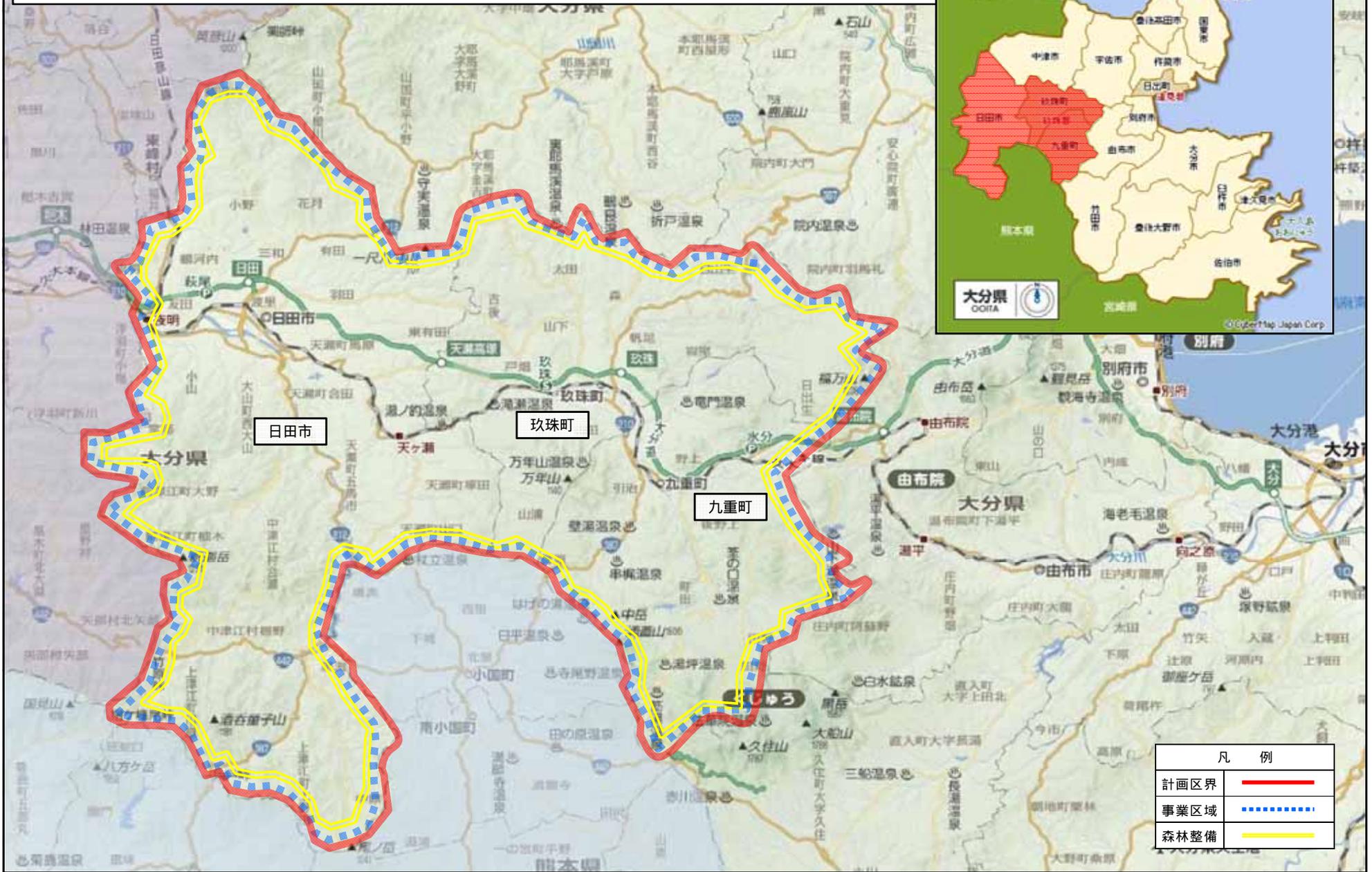
(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業  
 地域名: 大分西部

大分県  
 (単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	23,614,743	
	流域貯水便益	7,606,518	
	水質浄化便益	12,985,810	
山地保全便益	土砂流出防止便益	20,138,341	
	土砂崩壊防止便益	7,256,112	
環境保全便益	炭素固定便益	9,002,311	
木材生産便益	木材生産確保・増進便益	13,737,082	
総 便 益 (B)		94,340,917	
総 費 用 (C)		17,032,548	
費用便益比	$B \div C = \frac{94,340,917}{17,032,548} = 5.53$		

# 森林環境保全整備事業 大分西部地域(大分県) 概要図



凡 例	
計画区界	— (Red line)
事業区域	- - - (Blue dashed line)
森林整備	— (Yellow line)